

2024 3/12

No.2206

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



明治期に建てられた国登録有形文化財の古民家山十郎（愛川町中津）で「ひな人形とつるし雛展」が11日まで開かれ、色とりどりの華やかなつるし雛やひな人形で彩られた。



## contents

視点点描	3
78歳の素材技術 宇宙へ	
講演録	4
大航海時代を切り抜けた家康と按針 浄土寺住職 逸見 道郎	
経済双眼鏡	8
東証の史上最高値は「本物」か 約34年ぶり更新、揺り戻しの予感も	
馬場典子のNEWS箸休め	9
モンチッチとキティちゃん	
くらし2024	10
低体温症で落命 熱中症を上回る年も 現場の多くは「室内」	
本郷和人 歴史の舞台をゆく	12
米沢藩、成せば成るに限界も	
かながわTODAY	14
2月の主な経済ニュース	

### 事務局だより

◇2024年4月定例講演会  
4月17日（水）午後1時30分  
～3時  
ホテル、ニューグランド（横  
浜市中区）  
講師：ファンケル名誉相談役  
ファウンダー 池森 賢二氏

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045（226）2121。

# 視点 点描



## 78歳の素材技術 宇宙へ

「発」の素材を使った宇宙往還機が宇宙へと飛び立つ日が来る。そう考えるだけでワクワクする。

宇宙開発を巡っては近年、国際競争が激化。JAXAが国産新型ロケット「H3」の打ち上げに成功したのは記憶に新しいところだが、日本が存在感を発揮していくにはさらなる技術の向上と低コスト化が不可欠とされている。鍵を握るのが民間の力だろう。

谷本さんは独自の製造方法を生み出すことで、既存の製品と比べ「1桁違う」ほどのコスト削減に成功。昨年夏にJAXAと実施した実証実験では、大気圏再突入時の高温にも耐え得ることが確認できたといい、期待感是否応なしに高まる。

技術もさることながら、谷本さんの今なお衰えぬ探究心には頭が下がる。退官後は悠々自適の生活を捨て、自らが開発した素材を事

業化すべくビジネスの世界に飛び込んだ。新型コロナウイルス禍で思うように仕事が進まない時期も、ほぼ一人で研究を続けてきた。「研究成果を社会の役に立てなければ意味がない」。宇宙輸送のみならず、自動車部品や航空機エンジンなどへの応用も視野に入れている。

「ベンチャー企業というと、若い人のイメージが強いが、こんなふうに頑張っているシニアベンチャーもいることを知ってもらい、励みになればうれしい」。その言葉に、筆者も勇気をもらった。

日本版スペースシャトルへの採用が決まったとしても、打ち上げは20年近く先のこと。「私は空(天国)から見守ることになる」と笑った谷本さんだが、今と変わらぬお元氣な姿で見届けているものと信じている。

「2040年、私は(この世に)いないと思うが、長年やってきたことの成果が形になれば」。78歳のベンチャー企業の男性社長は、そうやって目を細めた。

男性は、湘南先端材料研究所(藤沢市)代表取締役の谷本敏夫さん。湘南工科大学の元学長で、退官後の2014年7月に同社を設立した。

複合材料の分野で第一人者と言われる谷本さんが考案したのが、800〜千度程度の温度にも対応可能な繊維強化セラミックスだ。既に特許を取得。宇宙航空研究開発機構(JAXA)と共同研究を進めており、国が2040年代前半の打ち上げを目指す「日本版スペースシャトル」の外壁に採用される可能性が高いという。「湘南

(神奈川新聞社経済部長・

岡本 晶子)